

たぐち のぶたか
田口 信教 (1951～)



水泳選手。オリンピック金メダリスト。周桑郡^{にゅうがわちやう}壬生川町(現、西条市)出身。水泳選手として3度のオリンピックに出場した。1度目のメキシコシティー大会では泳法違反で失格したが、2度目のミュンヘン大会では100m平泳ぎで当時の世界新記録を樹立して優勝、200m平泳ぎでも銅メダルを獲得した。3度目のオリンピックとなったモントリオール大会終了後に競技生活の一線から退き、その後は水泳理論の研究に没頭。昭和54(1979)年、アメリカのインディアナ州立大学の在外研究員として国費留学し、昭和59(1984)年、当時新興の体育専門の国立大学・鹿屋体育大学の講師に就任した。鹿屋体育大学の教授を務めていた平成16(2004)年、指導をしていた当時大学4年生の柴田亜衣が第28回オリンピック・アテネ大会の800m自由形で金メダルを獲得(女子の自由形で初の金メダル)した。平成29(2017)年、

定年退官。鹿屋体育大学名誉教授が授与される。

略歴

昭和26(1951)年6月18日	周桑郡壬生川町に生まれる。
昭和39(1964)年	壬生川町立壬生川西中学校(現、西条市立東予西中学校)に入学し、水泳部に入部
昭和40(1965)年	中学校の水泳の全国大会で3位
昭和41(1966)年	広島県の三原市立第三中学校へ転校
昭和42(1967)年	広島県立尾道高等学校1年生の時に100m平泳ぎで日本新記録樹立
昭和43(1968)年	第19回オリンピック・メキシコシティー大会100m平泳ぎで出場するが泳法違反とみなされ準決勝で失格。400mメドレーリレー5位
昭和47(1972)年	第20回オリンピック・ミュンヘン大会水泳100m平泳ぎで優勝。200m平泳ぎで3位
昭和48(1973)年	第1回世界選手権大会水泳100m、200m平泳ぎで3位
昭和49(1974)年3月	広島修道大学卒業
昭和51(1976)年	第21回オリンピック・モントリオール大会100m平泳ぎ12位、200m平泳ぎ予選落ち、400mメドレーリレー8位。大会後に現役引退
昭和52(1977)年3月	広島修道大学大学院修了
4月	フジタ工業入社
昭和54(1979)年	アメリカのインディアナ州立大学に国費留学
昭和59(1984)年4月	鹿屋体育大学講師就任
昭和62(1987)年	国際水泳殿堂入り
平成元(1989)年4月	鹿屋体育大学助教授就任
平成5(1993)年4月	鹿屋体育大学教授就任
平成29(2017)年3月	鹿屋体育大学定年退官。同大学名誉教授が授与される。
平成30(2018)年4月	いわき明星大学(現、医療創生大学)特任教授兼副学長就任
平成31(2019)年4月	医療創生大学特任教授兼副学長就任

〈関連図書〉

- ・『えひめ 人 その風土』 愛媛放送株式会社 1986年
- ・野沢敬 『現代日本 朝日人名事典』 朝日新聞社 1990年
- ・『スポーツ人名事典 増補改訂版』 日外アソシエーツ株式会社 1995年
- ・田口信教『金メダルの壁 どのようにして金メダリストが育つのか』 アートヴィレッジ 2006年

〈主な収蔵資料〉…(P239, 198~199)

〈ゆかりのある場所〉…(P321, 229~230)